

平成19年度人権週間の時期を中心とした人権啓発に係る取組について

平成19年11月28日

1 人権街頭啓発

府内一円に、国、府、市町村、人権啓発推進会議等が一体となつて行う取組

(1) 京都市内(4日)

四条河原町(京都市役所前から四条河原町交差点までパレードの後)

(2) 乙訓地域 向日市(3日) 長岡京市(2日) 大山崎町(4日)

(3) 上記以外 12月中 府内各所

2 新聞等による啓発

(1) 意見広告掲載

掲載日: 1日(土) 外国人との共生社会の実現

4日(火) 携帯電話に係る情報モラル等の問題喚起

8日(土) 命の大切さ

掲載紙: 京都新聞(3日間とも)

朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞の各紙(4日のみ)

(2) 人権口コミ情報の京都新聞への連続掲載

時 期: 1日～11日(10日を除く)

内 容

テーマ	執筆者名	掲載日
ニューカマーとよばれる人びとの人権	仲尾宏 京都造形芸術大学客員教授	1
未来を守るために	内田博文 九州大学大学院教授	2
国際障害者権利条約	坂元茂樹 神戸大学大学院教授	3
結婚差別の今、その乗り越え方	伊藤悦子 京都教育大学教授	4
外国人介護士の人権問題	安里和晃 龍谷大学講師	5
子どもの人権を尊重するまちづくり	住友 剛 京都精華大学講師	6
ソーシャルインクルージョン	正木恵子 「フリーダム」常任理事	7
高齢社会と女性の貧困化	竹中恵美子 大阪市立大学名誉教授	8
メディア・リテラシー	安藤仁介 京都大学名誉教授	9
いのちの尊厳	上田正昭 京都大学名誉教授	11

(3) 府民だより12月号

3 テレビによる啓発

(1) 人権週間特別番組の制作・放送

人権啓発テレビ「育てよう 一人ひとりの人権意識」

～多文化共生 お互いを認めあっている～

1日(土) 19:00～19:30 KBSテレビ

コメンテーター: 水野直樹・京都大学教授

司会: 非常階段シルク

出演：飛魚ノックス(ウスビ・サコ) 多文化共生センターきょうと(重
野亜久里) 東九条マダン実行委員会(朴実)

(2) テレビスポット放送 K B S 京都テレビ

(3) テレビ放送
K B S 京都テレビ 旬感 きょうと府

4 ラジオによる啓発

(1) 人権啓発連続番組を通じた啓発広報

ア はたけさんちの夕ごはん K B S 京都ラジオ 毎週金 16:35 ~ 16:45

イ Voice To You F M 京都 毎週木 22:25 ~ 22:30

(2) ラジオ番組放送

ア きょうとほっと情報 K B S 京都ラジオ

イ Kyoto Prefecture Public Line F M 京都

ウ ラジオスポット放送 F M 京都

(3) 京都三条ラジオカフェ(ミニFM放送局)

第1回人権メッセージ「わたしのひとこと」優秀作品放送(府ホームページでも紹介)

5 イベント方式による啓発

(1) 人権のつどい2007 ~ 京都人権啓発フェスティバル in きょうたんご ~

日時 11月11日(日) 11:00 ~ 16:00 (実施済み)

場所 京都府丹後文化会館(京丹後市)

内容 西川ヘレンの講演会、新井宗平のピュアハートコンサート、
NPO活動発表等

参加者 約800名

(2) 向日市制35周年記念・人権フェスティバル「平成19年度女^{ひと}と男^{ひと}のいきいきフ
ォーラム」

日時 8日(土) 13:30 ~ 16:00

場所 向日市民会館(向日市)

内容 海原純子の講演会、NPO活動発表等

6 コンクール関係

(1) 人権啓発コンクール表彰式

日時 1日(土) 13:30 ~

場所 京都府庁 旧本館 正庁

(2) 受賞作品の活用による啓発

ア 啓発ポスターの制作

平成19年度人権擁護啓発ポスターコンクール知事賞受賞作品による人権週間
啓発ポスターの作成及び府内一円での12月中の掲出

イ 人権カレンダーの制作

平成19年度人権擁護啓発ポスターコンクール優秀作品による点字付カレンダ
ーの制作

7 啓発資料の作成

人権啓発絵本の作成

ラジオ番組「はたけさんちの夕ごはん」のシナリオを活用した絵本（第2弾）の制作

8 研修会の開催

人権啓発指導者養成研修会（11月の部）の開催 11月21日（水）、22日（木）

テーマ	講 師
メディアと人権	松井 修視 関西大学教授
差別意識について	奥田 均 近畿大学人権問題研究所教授
高齢者の人権	永和良之助 佛教大学教授
感染症と人権	鬼塚 哲郎 京都産業大学教授

9 人権擁護委員による人権特設相談

府庁舎における人権擁護委員による特設相談の実施

府庁舎(13)、田辺庁舎(20)、園部庁舎(6)、宮津庁舎(12)、舞鶴庁舎(6)、綾部庁舎(4)

広報：ラジオ、府民だより12月号等による周知